

13日間の冬休み、いかがだったでしょうか。雪や寒さ、そしてコロナ感染症にもめげず、こうして元気な姿を見せてくれたことを嬉しく思います。連日オミクロン株の脅威が報道されていますが、マスク着用、手指消毒、体温確認等の基本的な対策を徹底して防衛するしかありません。感染症の影響で日々の学びが制約されないよう、これからも油断せず万全の対策を行っていきましょう。わけても3年生にあっては、大学入学共通テストを心身ともに万全の状態を迎えられるよう、この1週間余り、体調管理に気をつけて過ごしてください。残る日々、我々も精一杯支え応援します。

さて、3学期の始業にあたり、年度末の3ヶ月をいかに過ごすかについて、2点に絞り伝えます。

まずは、2学期からの繰り返しになりますが、「気」の充実。これを最も大切にしたいと思います。人の行動は気によって左右されます。「気持ち」とはよく言ったもので、気の持ちようによって行動するかしないか、また行動の質や量、成果も変わってしまいます。「気分」という言葉もあり、気力という場合の気よりもムラがつかまといえます。気持ちだろうが気分だろうが、共通するのは「気」なのであり、気を確かにどんな困難にも向き合いたいもの。そのベースとなるのが、日常的な「元氣（そもそもの根源的な気、生きる上で不可欠な気）」であり、「病は気から」のとおり、心身の健康・安定なくしては持ち得ないもの。「元氣があれば何でもできる」、ぜひ元氣を維持しましょう。そして、「本氣(機に依じて真に発揮する気)」。いかなる時も本氣であり続けるのは難しいものです。ここぞという時に、強く発揮したいもの。「本氣で、授業を受ける、部活動に取り組む」と簡単に言いますが、集中力を保って本氣で取り組み続けることの難しさは誰でも知っているはず。「ここぞ」とはいつなのか、どんな場面なのか、それを見極めるスキルを高めたい。そのための鍛錬の機会を日々用意されているのが環境としての学校であり、授業にせよ行事・部活動にせよ、鍛錬を積むことで「本氣発揮の見極めスキル」は確実に上がります。ただし日々の活動を漫然とルーティンワーク化してしまうと、スキルが上がらないばかりではなく、元氣まで吸い取られてしまいかねません。高校時代はまさに「ここぞ」の時の重要期。本氣になってスキルを高めましょう。最後に「勇氣(積極果敢に挑もうとする気)」。自身を脱皮させ、新たな扉を開くために、一歩目を踏み出す気力を持ちたいもの。その源は、おそらく自己分析にもとづく自身への自信あるいは不足感であるとともに、先をイメージする眼や当事者としての必要感なのではないかと思います。意義や価値を見いだせないものに勇氣は出ないし、必要もない。勇氣を持って踏み出すに値する対象をいかに見いだすか、これまた鍛錬と経験が望まれるところ。こうして考えると、元氣は日常、本氣と勇氣はその時々でタイミング良く発揮するのが望ましい。元氣なくして本氣になれず、勇氣も出てこないのが人の常。心身の健康を基盤に、機を逃さないスキルを身につける鍛錬を積み、有事に備えていきましょう。

次に、学習について。艱難辛苦の一つに挙げられることもある「学習・試験」ですが、辛く苦しいばかりではないはず。知らなかったことを知り、わからなかったことが分かる、できなかったことができるようになる。それが、学びの本質であり、初めて自転車に乗れた時の感動を思い出すとよくわかるのではないのでしょうか。つまり、学びはそもそも楽しくワクワクするもの。なにしろ新たに手に入れれば(身につけば)、確実に世界は広がり、深みを見せてくれるのだから。そしてその身につけ度合いを知る機会が試験で、程度が低ければ学び直せばいいし、高ければ次なる高みや深みへ向かえばいいのです。先の「気」の向きを確認できるのが試験と考えれば、他者との比較よりも自身の現状分析に重きが置かれることになるはず。それまで見えなかったモノが見えたり、行けなかったところへ行けるようになったりといった、新たなワクワク感を生み出す行為を学習とするのなら、敢えて「楽習」と考えてはどうでしょうか。「楽しんで学ぶ」ではなく、「楽しく学ぶ」。学びを辛く考えるのではなく、先生方の支援を受けながら、また仲間達と切磋琢磨しながら、時には一人思考を深めながら、時には対話や相談の機会を持ち、自身を晒して他者と共有しながら、「楽習」する。楽習の積み重ねの先には必ずや豊かな成長が待っていると信じます。「未来は、今である」。今の充実を心がけ、自身や社会にとっての望ましい未来を拓いていきましょう。

2学期に予定していた関西先端科学研修や理数科のシンガポール研修、その他サンタクララ研修等の各種の交流の機会はずべて中止を余儀なくされました。3学期は、1月の大学入学共通テスト、新規に実施する理数科推薦選抜とスポーツ特別選抜、2月にはSSH課題研究成果発表会があり、3月には卒業式、そして高校入学者一般選抜と続いていきます。日常を元気に楽しく学び、そして「ここぞ」といった時に本氣になり、さらには困難や未知の領域に勇氣を持って挑んでいく、全ての生徒と豊かな日常を築き上げたいと願っています。皆で明るく楽しく過ごしていきましょう。

以上、冬を終えての再会を喜ぶとともに、3学期への期待を伝え、始業式の式辞とします。